

陳述書

令和 〇年 〇月 〇日

東京家庭裁判所調停〇係 御中

申立人 アトム花子 ⑩

1 私と夫は、平成〇年〇月〇日に婚姻しました。平成〇年〇月〇日に長男一郎を、平成〇年〇月〇日には長女さくらを出産しました。

2 夫は株式会社〇〇に勤めるシステムエンジニアであり、年収は・・・・・・・・。

3 結婚した当初、夫は家事にも協力的で、円満な結婚生活を送っていました。しかし、一郎を出産した平成〇年〇月頃より、夫は私に対し、毎日のように暴言を浴びせるようになりました。具体的には、次のような発言がありました。

- ○○○○○○
- ○○○○○○
- ○○○○○○

4 平成〇年〇月頃から令和〇年〇月頃まで、夫と〇〇は不貞関係にあり、月に1~2回程度、〇〇の自宅に宿泊し、不貞行為を行っていました。令和〇年〇月〇日の〇〇時頃、自宅にて、私が不貞行為について夫に問い詰めたところ、夫は逆上し、・・・・・・・・。

5 このような夫の行為によって精神的苦痛を受け続けたため、令和〇年〇月〇日、〇〇病院にて、うつ病の診断を受けました。・・・・・・・・。

6 このように、私と夫との婚姻関係は破綻しているため、以下の条件で離婚したいと考えています。

- 長女さくらの親権は花子が持つ。
- 面会交流は月に一回行う。
- 夫は、さくらの養育費として、さくらが18歳になる月まで毎月金〇万円を支払う。
- 夫は、財産分与として〇〇〇万円を支払う。
- 夫は、慰謝料として〇〇〇万円を支払う。
- 年金分割の按分割合を0.5と定める。

以上